

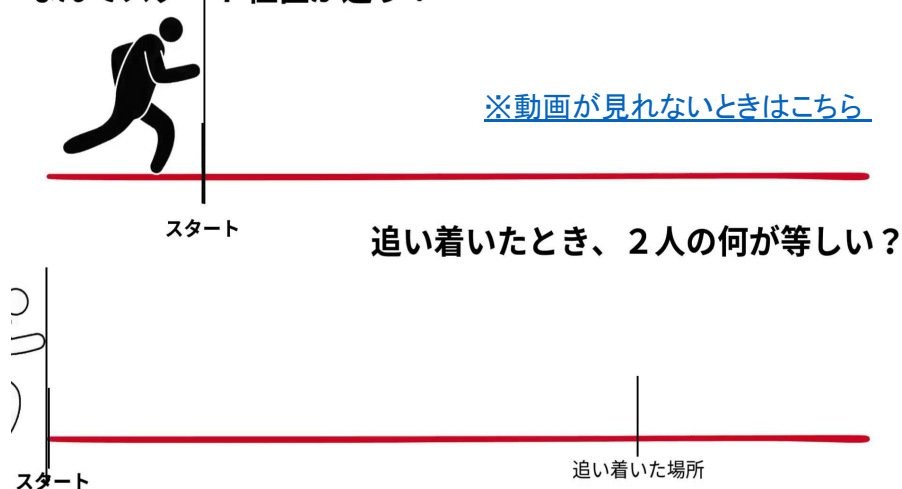
リーディング DXスクール事業 【実践事例】

興本扇学園足立区立扇中学校(東京都)【指定校】

【取組内容③】中学 1年生 数学「方程式の利用」
動画教材の活用

数学科『方程式の利用』では、今まで学習してきた内容を活かして、先に走っている選手より数分遅れた選手が何分後に追いつくことができるかを、方程式を用いて求めた。条件の設定では、どのような情報があれば2人の選手を比較できるかなどを、オンラインホワイトボードの付箋機能を使って他者と共有した。また、実際に遅れた選手が追いつく場面を教師側が動画編集アプリケーションを用いて映像で用意した。そこから導けることなどもオンラインホワイトボードを用いて共有し、生徒同士で理解を深めることができた。

なんでスタート位置が違う？



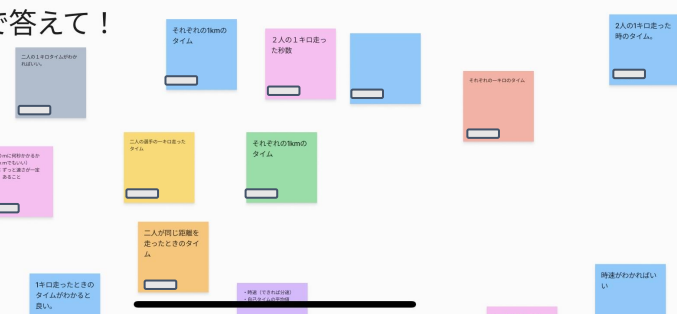
方程式の利用(きはじ)(2組)

(

Section 1

A選手がB選手に追いつけるかどうか判断するためには、どんな事がわかればよい？どんな条件をつければよい？

付箋で答えて！



成果

オンラインホワイトボードを用いたことで、考えを他者と共有し、自分にはなかった考え方に気付くことができた。また、映像を用いて視覚化することによって、どのようなところに等式が隠れているかをイメージしやすくなり、文章題への理解が深まった。途中式などを写真で共有することで、生徒自らが解き方や答えを確認することができた。

課題

個別学習をしている際に、つまづいたらそこで止まってしまう生徒がいる。考えを共有させるだけでなく、教室前方に集めて教員が支援しながら授業を進めるなどの工夫が必要である。

オンラインホワイトボードでは、こちらが用意したテキストや枠などを生徒も編集・削除できるので、事前にルールを決めて、定着させる必要がある。